中國新聞
發行所 廣島市上流川町二番地 中國新聞社
編輯印刷發行人 増田幹吾

最高戰爭指導會議を設置

國務と統帥を吻合
民族決戰不敗の態勢

小磯内閣決戰下の最高機構として海軍部と陸軍部との組織成初より陸海軍部の關係の確立ならざるに統帥と國務の間然するところなき一體關係確立の新方途に關し鋭意考慮を重ねて來たが、今回大本營政府連絡會議に於て最高戰爭指導會議を設置、最高戰爭指導會議において戰爭指導の根本方針を決定し政戰兩略の吻合調整に任ずることに決した、すなはち從來の統帥と國務の連絡調整方式から統帥と國務の一體的關係確立を目的とする最高戰爭指導會議の設置を通達し方策とすることに決定した、よつて小磯首相、梅津參謀總長、及川軍令部總長は、五日午前十時三十分揃つて宮中に參内、天皇陛下に謹奏仰付けられ、陸海軍の最高戰爭指導會議設置の主旨を奏上、御裁可を得てここに小磯内閣において樹てられ、民族決戰に突入すべきわが政戰兩略不敗の態勢は全き姿で確立せらるゝにいたつた、よつて小磯首相は同日午後一時から首相官邸に開催された臨時閣議に於て、この旨報告、さらに同日午後情報局から小磯首相の謹話ならびに次の如き發表を行つた

情報局發表（昭和十九年八月五日）今般御裁可を經て戰爭指導の根本方針の作定および政戰兩略の吻合調整に任ずるため最高戰爭指導會議設置せられたり

有に伴ひ從來の大本營政府連絡會議は廢止せらるゝ、なほ別に毎週定例的に政府、大本營の間において懇談を行なうこととせり

聖慮思民し

小磯首相謹話

最高戰爭指導會議設置に關し小磯首相は左の如き謹話を發表し大御心を奉戴し軍大時局に際し統帥と國務との調整に萬全を期しもつて大東亜戰爭の完遂に邁進すべき旨を誓つた

小磯總理大臣謹話

本日最高戰爭指導會議の件につき奏上したしましたところ恭くも天皇陛下におかせられましては最高戰爭指導會議を確成する著しく混然一體となり戰爭指導に關する最高方針の策定及政戰兩略の調整に萬全なきを期し以て大東亜戰爭の完遂に邁進すべしとの御主旨の有難き御言葉を賜りました、まことに恐懼感激堪へざる次第であります、今日の軍大時局に際し統帥と國務との吻合調整が何よりも大切なことであることは申すまでもありません、今日までにおきましてもこの點に特に軍點がおかれて來たところでありますが本日改めて御言葉を賜りましたことは眞に畏き極みであります深く聖慮のほどに感を致しまして何とも從來のゆきがかりに捉れることなく、よく軍國の直視して萬全を期してまゐりたいと存ずる次第であります、軍官民大御心を奉戴し眞に全國民一致一體となつて大和一致、滅私奉公をこの上なく強め次第であります（總理は小磯首相）

決戰突破へ政治工作完了

政府は五日午後五時から高次の戰爭指導機構として最高戰爭指導會議の設置を決定、戰爭指導の根本方針の策定および政戰兩略の吻合調整に任ずる最高戰爭指導會議の設置を決定、戰略の調整に萬全を期し大東亜戰爭に邁進せられることを誓ひ次の如き發表を行つた

陸軍大臣 梅津參謀總長 及川軍令部總長

情報局發表（昭和十九年八月五日）

今般御裁可を經て戰爭指導の根本方針の作定および政戰兩略の吻合調整に任ずる最高戰爭指導會議の設置を決定、戰略の調整に萬全を期し大東亜戰爭に邁進せられることを誓ひ次の如き發表を行つた

陸軍大臣 梅津參謀總長 及川軍令部總長

情報局發表（昭和十九年八月五日）

今般御裁可を經て戰爭指導の根本方針の作定および政戰兩略の吻合調整に任ずるため最高戰爭指導會議設置せられたり

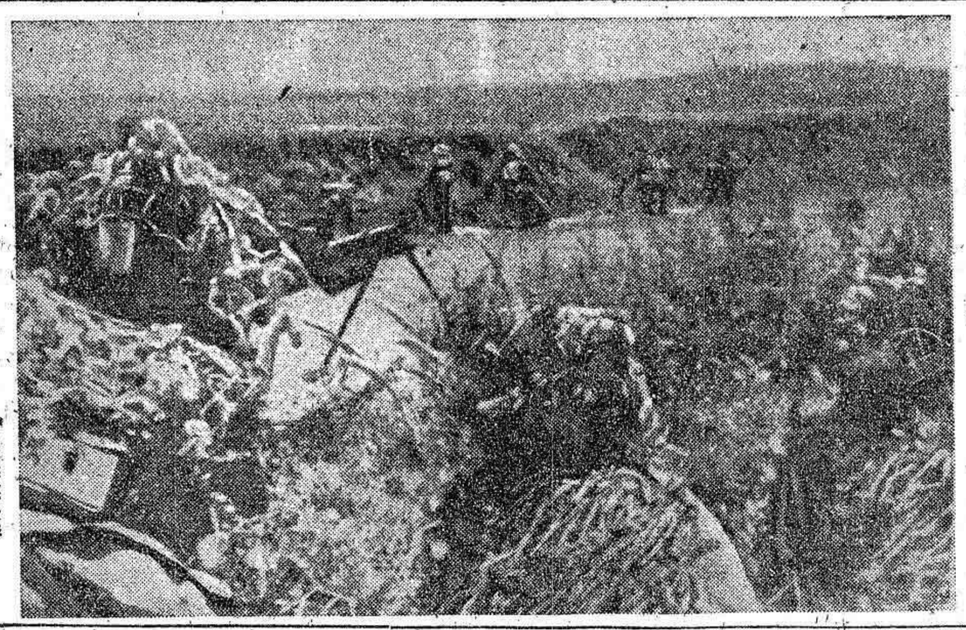
有に伴ひ從來の大本營政府連絡會議は廢止せらるゝ、なほ別に毎週定例的に政府、大本營の間において懇談を行なうこととせり

陸軍大臣 梅津參謀總長 及川軍令部總長

情報局發表（昭和十九年八月五日）

今般御裁可を經て戰爭指導の根本方針の作定および政戰兩略の吻合調整に任ずるため最高戰爭指導會議設置せられたり

有に伴ひ從來の大本營政府連絡會議は廢止せらるゝ、なほ別に毎週定例的に政府、大本營の間において懇談を行なうこととせり



敵陣に肉薄するわが突擊隊の勇士（湖南戰線）（陸軍省提供写真）

明石灣頭、頑守六晝夜
敵に一千の大損害
大宮島 石井部隊の奮戰

【中部太平洋基地五日發同盟】陸海空からする敵の猛烈な攻撃を撃破しつゝ、或は滅殺を續けてゐるわが大宮島守備部隊將兵の奮戰ぶりは壮烈語を絶するものがあり、特に石井部隊中尉の指揮する中隊の力戰奮闘は切々肉迫くるの、胸迫打ちてはかない、すなはち石井中隊は敵の同島明石灣上陸當初より上陸部隊を邀撃、敵の猛烈な攻撃にも何等屈することなく寡兵よくその進撃を阻止する戰闘を繰り返すこと六晝夜におよび、敵に一千を下らぬ大損害を與へた、一方石井中隊は死傷者出しまた少なからず、しかも生存者は將兵全員が決死の覚悟をもつて敵を殲滅しつゝあるとの報告に接し、その奮闘ぶりは一段と光輝を放つてゐる

激闘續く春田山
敵は黒人、濠洲兵を生擒

【中部太平洋基地五日發同盟】わが大宮島守備部隊は十日にあまる激闘のち同島明石灣東北に集結中であつたが、八月はじめから敵上陸部隊を邀撃、敵の猛烈な攻撃にも何等屈することなく寡兵よく奮戰し敵に大損害を與へた、特に春田山において敵は五日夜半數隊に分かれ、日本軍は黒人部隊、濠洲兵部隊を生擒にし、その後方攪乱を図つてゐる模様であるが、日本軍はこの戰闘で捕虜にした黒人部隊、濠洲兵部隊を生擒にし、その後方攪乱を図つてゐる模様であるが、日本軍は